

編集後記

本号から本誌の編集を担当することになりました。本誌では当財団の活動を報告するとともに計算科学に関連するトピックスを皆様にお届けします。多くの方、特に若い方に興味を持って読んでいただける紙面作りを目指します。

本号で掲載した巻頭言、当財団からの報告、計算科学に関連するトピックスのいずれの記事もスパコンに関連深い内容となりました。スパコンと言えば、毎年6月と11月にTop500の発表があります。この6月に発表されたTOP500では、中国の「太湖之光(TaihuLight)」が96ペタフロップスを達成し、ついに100ペタフロップスの世界が目前となりました。これに対して日本も米

国もエクサ級のシステムの開発を進めていますし、一方で、同じ6月のGreen500でトップになった日本のPEZYの液浸冷却スパコンのような個性的なシステムも出てきています。PEZYもエクサー番乗りを目指して開発を進めているということですから、スパコンの開発競争も少し面白くなってきました。スパコンの性能に関しては、ここ数年は停滞気味の印象でしたが、ブレイクスルーが起きそうな予感がします。

新しいハードウェアの出現は、ソフトウェアを扱う私たちにとっては新たなチャレンジの機会となります。どんなものかどんな性能で現れてくるのか、とても楽しみです。
(長谷川)